

本校は、磐田市の北西に位置する、田畑に囲まれた自然あふれる学校です。全校児童一二九人の小規模校で、磐田市で一番小さな学校です。

学校教育目標を「笑顔いっぱい 夢いっぱい」とし、子どもたちの笑顔と夢を大切にしたい教育活動に日々取り組んでいます。地域の方とのつながりも強く、様々な学校行事に地域の方が参加し、協力してくださっています。

子どもは多くは、素直で優しく、落ち着いた生活を送っています。しかし、その反面、自ら考え、行動することが苦手で、固定化された人間関係の中で、時に悩んでしまう子どももみられます。そこ



本校は、浜松市の東部に位置し、交通の要所である浜松インターに近く、本年度で創立72年目を迎える歴史と伝統のある全校生徒684人の中学校です。

校名の「与進」は、中国の古典『論語』の「子曰。不与其伸也。不与其退也」から引用したもので、「ともに進む」や「前進しようとする人を支援する」という意味があります。

本校の教育目標は「共に自立をめざす生徒へ見つけ・高め合い・認め合う」とし仲間とのかかわりを大切にして、現状をしっかりと「見つけ」共に「高め合い」自分達

で、本校では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、子どもたちのケアや保護者へのアドバイス、学校と家庭との連携を図っています。特にスクールカウンセラーには、子どもから大人まで相談の希望が多く、学校にとって無くてはならない存在となっています。



本校の健康教育の大きな柱として、「健康チェック」というものがあります。毎月設定されている健康の日に合わせて、3日間「自分のめあて」や「就寝・起床時刻」、「朝ご飯」について記録をします。この活動に加え、中学校区合同で行っている「早く寝よう週

間・ノーマディアデー」が年に2回あり、これらの活動は長年継続して行ってきました。そのことから、保護者と子どもの生活習慣への意識は高く、早く寝るために帰ったらすぐに宿題や明日の支度をする子どもが多くなります。また、この健康チェックから、個人の健

磐田市立岩田小学校

養護教諭 石川 祐里

康課題を把握し、個別の指導へと活かしています。今年度は、本校の子どもの実態として、肥満度の高さが課題として挙がっていたことから、生活習慣病予防をキーワードに、健康教育を進めてきました。

まず、学校保健委員会において、保護者に実態を知りたい。といった意見が寄せられました。また、子どもの実態から、栄養バランスを考えた朝食をとってほしいと考え、たくさんのメニューから自分の朝食を選ぶ掲示を作成したり、自分が元気になる朝食メニューを保健便りでご飯メニューを掲載し募集し、保健便りに掲載し



り組みによって、「今日はこんな朝ご飯だったよ」と朝食の内容を報告してくれる子どもが増え、それが個別の保健指導につながっています。

私は、子どもたちが笑顔で夢を叶えるために、自分の健康は自分で守ることが出来る人になってほしいと願っています。子どもが自ら考え、行動するには、養護教諭として何をすべきか、今後も考え続けていきたいと思っています。

のよさを「認め合う」と。夢や目標に向かって努力・挑戦し、自分らしい生き方を求め続ける生徒の育成を目指しています。



はできるが、自分から進んで取り組むことが苦手としている生徒も多いです。保健室には、養護教諭補助員という浜松市独自の制度があり、複数の養護教諭が配置されています。複数の養護教諭で指導に当たるとは、きめ

細かい対応ができ生徒の安心・安全にもつながっています。校区には、2つの小学校があり連携した教育活動を行っています。目指す子ども像を「自信をもって、ともに進む 長上の子」とし、月に1回「心の日」を設定し心の

浜松市立与進中学校

養護教諭 齋藤 祐子

教育に取り組んでいます。「心の日」は同時に「アウト・メデイアデー」でもあり心も体も落ち着いた一日を過ごせるように呼びかけています。毎月、実施時期を揃え自尊感情を高めることをねらいとした内容を意図的に取り入れ、発達段階に合

わけて資料を作成しているのも特徴です。毎年「自己肯定感に関するアンケート」を行っている「自分に自信がある」「自分の意見は自信を持って言える」と答える生徒の割合が60%以上を占めています。作成した資料を家庭に持ち帰ることで、

「心の日」への保護者理解が年々深まっています。また、生徒保健委員会

の活動も大切にしています。毎月の活動で、目標に合わせたテーマで保健委員の生徒一人一人が全校生徒向けに健康アドバ

げんきな事業所

ゼンウェルオーダー株式会社

(磐田市高見丘1218)

1. 会社紹介
ゼンウェルオーダー株式会社は1976年4月に創業し、今年で44年目を迎える機械製造業を営む会社です。本社は静岡県磐田市に構え、ショッピンセンター「ららぽーと磐田」から徒歩数分のところに所在します。

私達は、子どもたちが笑顔で夢を叶えるために、自分の健康は自分で守ることが出来る人になってほしいと願っています。子どもが自ら考え、行動するには、養護教諭として何をすべきか、今後も考え続けていきたいと思っています。

2. 安全衛生・健康管理への取り組み
社員の安全衛生面・また健康管理面における配慮というのは、弊社も数年前から取り組みを強化しております。

直属の上司などだけでなく担当や安全衛生委員などからもアプローチして面談の回数を増やし、問題が大きくなる前に対処するよう努めております。



2018年の社員旅行

して作成しています。作成した掲示物を通じ生徒同士の交流にも一役買っています。

各部署の社員から構成される「安全衛生委員会」を中心に、社内巡回やストレッチエクササイズの実施などを行っています。社員のメンタルヘルスもやはり年々デリケートになっておりますので、ちよっととした「気づき」を見逃さぬよう、

具体的な施策として、社員の健康管理の一環として社内「トレーニングルーム」を設置しました。元々は体組成計や血圧計などを置くくらいだったのですが、肩こりや腰痛に悩む社員などのためにマルチトレーニングマシンを置き、エアロバイクを置き、ランニングマシンを置き...としている間に、いつの間にかしっかりととしたトレーニングルームになっていきました(笑)。社員は昼休みや定時に自由に使えるため、多くの社員が利用しています。身体面の健康促進ではあります。今ではコミュニケーションの1つにもなっております。

今後はますます人口が減っていく日本においては、中小企業は今以上に「人材は宝」となっていくでしょう。まだまだ課題は多いですが、社員がみな今後安全に・健康に働けるよう、いろいろな施策を考えていきたいと思っております。

今後はますます人口が減っていく日本においては、中小企業は今以上に「人材は宝」となっていくでしょう。まだまだ課題は多いですが、社員がみな今後安全に・健康に働けるよう、いろいろな施策を考えていきたいと思っております。



磐田本社



トレーニングルーム



https://www.zenwell.co.jp/